

教育目標「考動」

響き合う二つの成長 ～ “竹” と “樹” 育ちの視点から ～

第5号もコロナ感染症のことからお話をはじめなければなりません。第7波は徐々にではなく一気に拡大し、7月14日(木)に滋賀県の地域の感染レベルが「2」に上がりました。行動制限は行わないとのことですが、心の制限は増すに違いないだろうと感じます。夏休みならではの楽しみである旅行も、全国旅行支援(国交省が企画)の当面の延期が発表されるなど、厳しい状況です。



一里山公園 緑のふれあいセンター
7月17日撮影

夏季総合体育大会、吹奏楽コンクールは感染拡大傾向が続く中で、感染対策を講じた上で開催、と決定されました。思いをぶつける場があることにあらためて感謝してほしいと思います。

そして、大会当日は「勝利」にこだわりながら、これまでの活動の集大成として「熱戦」を繰り広げることで、成長につなげてほしいと願っています。

つまり、チームで戦う時にはチーム力を高めるような言葉を、ワンプレー毎に交わすこと。個人戦なら、劣勢、優勢にかかわらず、最後まで全力を出し切ろうとすること、そんな熱い思いを持ち、プレーや演奏に挑んでほしい。力を出し尽くしたと感ぜられる戦い方をすれば、たったひとつの試合からでも、心の中にある、たくましく強い精神力の芽がさらに成長するきっかけになるかもしれないからです。

昇降口に掲示した「祈 熱戦」のメッセージは、このような思いを表現したものです。

部活動での大会や2学期の行事は、その日だけのわずかな時間かもしれませんが、その関わり方によっては、大きな成長につながる可能性を秘めた「大切な時間」だと考えています。

自分の中学校での成長をどう感じているかについて、昨年12月の高等学校に向けた面接の中で、皆さんに最後の質問として聞いてみました。

授業、部活、学級、文化祭や体育祭、仲間と共に「目標」に向け協力し努力する中で「人との関わりが改善できた」と、内面を見つめている姿に出会うことができました。印象的だった内容を紹介します。

「変わろうと努力し、できるようになった。」

変わろうとし続けられたのはなぜですか?と聞くと、友だちからの言葉、家族の支援、このままではダメという強い思い、と答えてくれました。また、

「役割を果たすことで、成長につながった。」

部長や学級委員、学級での係活動や掃除等、与えられた責任を果たそうとし、うまくいかないことに悩みながらも、最後までやり通したという自信。また、仲間からの感謝の気持ちや、成果を出せた喜び。

これらの成長は、夢を実現する基盤であることにも気付かされます。

どんな夢であっても、実現のためには、できなければならないことを、できるまでやり切らなければなりません。それを支える基盤を自分の成長として感じている姿に、頼もしさを感じました。

将来の夢、めざす自分像の実現に2つの成長が鍵を握るだろうと思います。

ひとつは、部活・行事・地域の体験を通して、活動後に得られる充実感・達成感をもたらす、節目としての「成長」。もうひとつは、その成長の機会を積極的に求め、積み重ねていくことによりもたらされる年輪のような「成長」です。

夢の実現には後者の成長が大切になってくることは間違いありませんが、何より、基盤となる前者の「成長」を少しでも多く感じ取れるよう、大人の支援や言葉がけが大切になります。また、積み重ねながら成長する様子を“年単位”で見守ることができなければなりません。“じっくり”という言葉であらためて見直し、大切にしていきたいものです。

“じっくり”の夏休み、明日から始まります。



月輪寺 境内 7月17日撮影

詩作すること

令和4年度 大津市 学校夢づくりプロジェクト 《詩作の取り組みは夏休みを集中期間とします》

詩作に取り組み、各学年より選ばれた詩一編を合唱曲として作成。創立40周年在籍生徒の思いとして残したいと考えています。テーマを「夢を描く」としました。取り組みの案内は19日に配布しました。

今年度は「ふるさと瀬田」の歴史・文化・自然、も題材とし、日常の心温まるできごとや感動等、これからも大切に守りたい何気ない風景、そんなことも表現してほしいと考えています。

詩人 野呂 昶 先生が詩集「夢の泉」の冒頭に、詩作することの意義を3つ書かれています。

- 1 自分の心の中を、深くみつめることができるようになります。
- 2 美しいもの、よいものへの関心が深まります。
- 3 新しい自分が発見できます。

このことをすぐに実感できないかもしれません。「意欲的であれ・やさしくあれ・たくましくあれ」本校が大切にしている人としての姿は、詩作を通じ、立ち止まり自分自身や地域を見つめ、守っていきたいこと、新しく創造したいこと、なりたい自分など、未来を見つめることでも育めるだろうと思います。

保護者・地域の皆さまからの寄稿もお待ちしております。

募集期間と寄稿方法は、上記に示させていただいた通りです。「※」部分は次の通りお願いします。

※保護者の方：お子さまの学年・組・保護者氏名 ※地域の方：お名前・ご住所・連絡先（メールアドレス等）
ご提出先：封筒に入れていただき本校ポストまで。

詩の募集期間 と 寄稿について

期 間：6月20日(月)～10月28日(金)

用 紙：原稿用紙（2枚程度まで）

※学年・組・氏名 を記載

寄稿先：担任の先生 もしくは
校長室前提出ボックス

「夢への道」

夢に向かって一歩一歩

歩いていこう

たまに 走ってみたり

たまに 遠回りしてみたり

回り道には回り道にしか咲いていない

花がある

転んでつまずいても

くじけず、諦めず

また夢に向かって進んでいこう

令和三年度三年生作品



瀬田川沿いの「樹の切り株」から
新芽が吹き出す生命力に感嘆

令和4年度 瀬田北中学校 地域活動 Ranger

夏休み期間
紹介している
6つの活動



6つの活動は HP で紹介しています。
申し込みは7月21日（木）からは
瀬田北支所・瀬田東支所・南大萱会館へ

地域から6つの活動紹介がありました。全校生徒対象の活動もあります。活動をしながら地域の方と交流する。ばったりと近所で出会うと、自然と「こんにちは」の挨拶が生まれる。生活の場でのちょっとだけ大きな変化が活動に参加したことで始まる。「この前はありがとう」に「先日はお世話になりました」そんなひとことの交流からエネルギーが生まれるに違いない。生きる力、生命力は人とのつながりがもたらしてくれるのではないかな。

地域 Ranger 活動からそんな「成長」を感じてほしい。

No2の江州音頭の踊り講習会の参加には申し込みが必要です。8月19日（金）頃までには申し込みを済ませましょう。

創立40周年の柱は「地域と共に」

学校の中で地域を感じられるよう工夫をしています。地域行事に参加した生徒の感想からは、学校では得られなかった新しい力が心の中に生まれる等「成長」につながっています。活動参加の支援をご家庭でもよろしく願います。